

沖縄県立病院における 看護師確保の現状と課題



沖縄県立南部医療センター

・こども医療センター

副院長 平良孝美



本日の内容

1. 沖縄県の概況
2. 沖縄県立病院の看護師確保
3. 当院における看護師確保の取り組み
4. 県立病院附属診療所の看護師確保

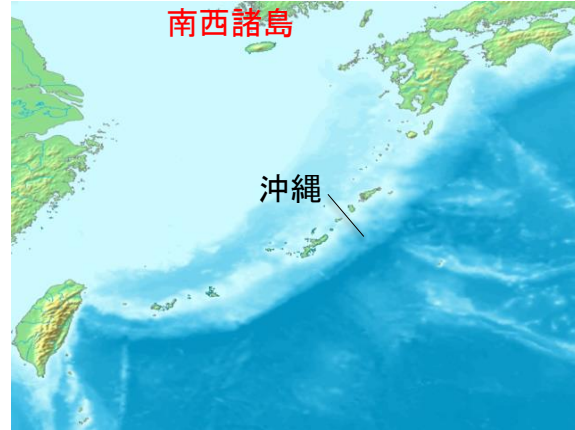
1. 沖縄県の概況

沖縄県の保健医療圏

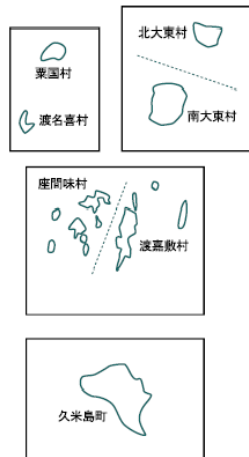
(総人口141万7千)

医療圏	人口 万	%
北部	10.0	7%
中部	49.5	34%
南部	71.7	51%
宮古	5.2	4%
八重山	5.3	4%

平成27年度国勢調査



中部保健医療圏



南部保健医療圏

宮古保健医療圏

八重山保健医療圏

沖縄県の看護関連指標

平成28年末現在

就業看護師数	14,732人
就業准看護師数	4,145人
就業保健師数	754人
就業助産師数	434人

※就業者数は実人員数

出典：厚生労働省 平成28年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況

病院数	92
一般診療所	897

出典：厚生労働省 医療施設動態調査(平成30年11月末概数)

養成機関		1学年定員	29年度 卒業者数	県外就職 (再掲)
大学	3校	220人	218人	71人
3年課程	5校	480人	438人	99人
助産師 養成課程	2校	26人	27人	3人
	8校	726人	683人	173人

※助産師養成課程は大学の別科・専攻科として設置されている

出典：厚生労働省 看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査(平成30年調査)

正規雇用看護職員離職率 10.9% (回答病院数 38)

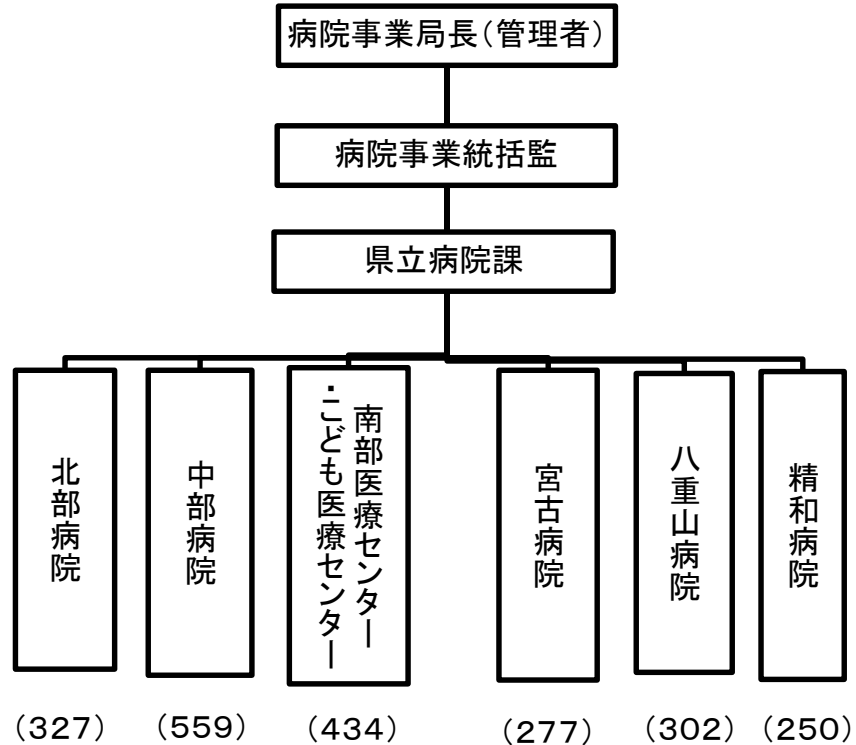
新卒看護職員離職率 7.6% (回答病院数 36)

出典：日本看護協会 「2017年病院看護実態調査」結果報告

2. 沖縄県立病院の看護師確保

沖縄県立病院の概要

平成30年4月1日現在



※()は平成30年10月1日時点の許可病床数

※精和病院以外は附属診療所を設置しており合計16箇所を運営

※地方公営企業法全部適用(平成18年4月1日)

正規雇用看護職員の平均年齢 39.6歳

	看護職員定数	看護補助員定数
北部病院	267	4
中部病院	564	3
南部医療センター ・こども医療センター	512	5
宮古病院	197	0
八重山病院	196	2
精和病院	100	0
附属診療所	16	0
	1, 852	14

正規雇用看護職員離職率 5.3% 1)

新卒看護職員離職率 3.7% 2)

1) 正規雇用看護職員離職率: 総退職者数(定年退職を含む) / 平成29年看護職員定数 × 100

2) 新卒看護職員離職率: 平成29年度新卒退職者数 / 平成29年度新卒採用者数 × 100

沖縄県立病院の役割

1. 救急医療

一次・二次・三次救急医療の提供

2. 高度・特殊医療及び法令に基づく医療等

周産期医療・がん医療等の高度・特殊医療
結核・感染症及び災害医療等の法令等に位置づけられた医療、小児精神科医療等

3. 離島・へき地医療

16の附属診療所を運営
北部、宮古、八重山病院は離島へき地の中核病院として巡回診療も実施

4. 医師等の養成研修

5. 看護学生実習受け入れ

看護師確保の現状

1. 看護職募集活動

- ・県内外の大学・看護学校等での就職説明会
- ・看護職募集パンフレット作成 ・ホームページ掲載

2. 看護師養成機関への看護職員派遣研修

- ・臨床現場と教育現場をつなぐ人材の育成
- ・1年間の研修期間(平成26年度開始)

3. 認定看護師資格取得助成

- ・特定の専門分野を目指す看護師のキャリア形成支援
- ・認定看護師数 54名 17分野

4. 知事部局との人事交流

- ・県保健医療部内の各課や県立看護大学への配置
- ・将来のリーダー育成 ・多様なキャリア形成

5. 代替看護師派遣事業

- ・県立病院附属診療所に勤務する看護師の研修機会・休暇の確保

3. 当院における看護師確保の取り組み

当院の所在地と地域別患者数(平成29年度)

市区町村	入院	外来
那覇市	60,798	60,932
浦添市	7,283	8,732
豊見城市	6,764	8,407
南風原町	13,608	15,563
糸満市	6,206	7,828
宜野湾市	3,696	5,416
西原町	3,324	4,660
南城市	9,211	10,456
その他	35,665	27,843



当院の概要

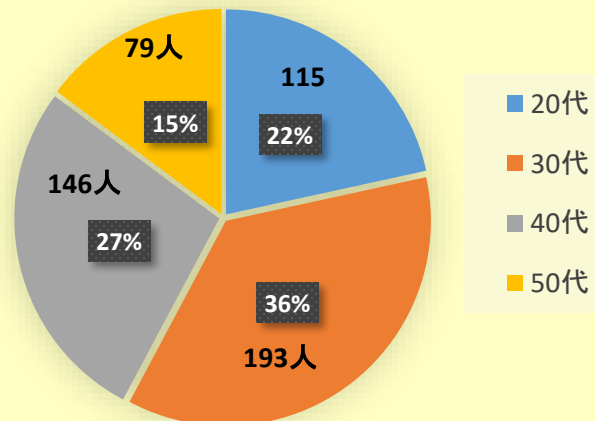
理念

こどもから大人まで「大切な命を守り、県民に貢献する」病院



- ・こども病院を併設した総合病院
- ・救命救急センター(三次医療受け入れ)
- ・小児救命救急センター
- ・総合周産期母子医療センター
- ・地域医療支援病院
- ・第一種・第二種感染症指定医療機関
- ・災害拠点病院
- ・身体疾患対応の精神病棟

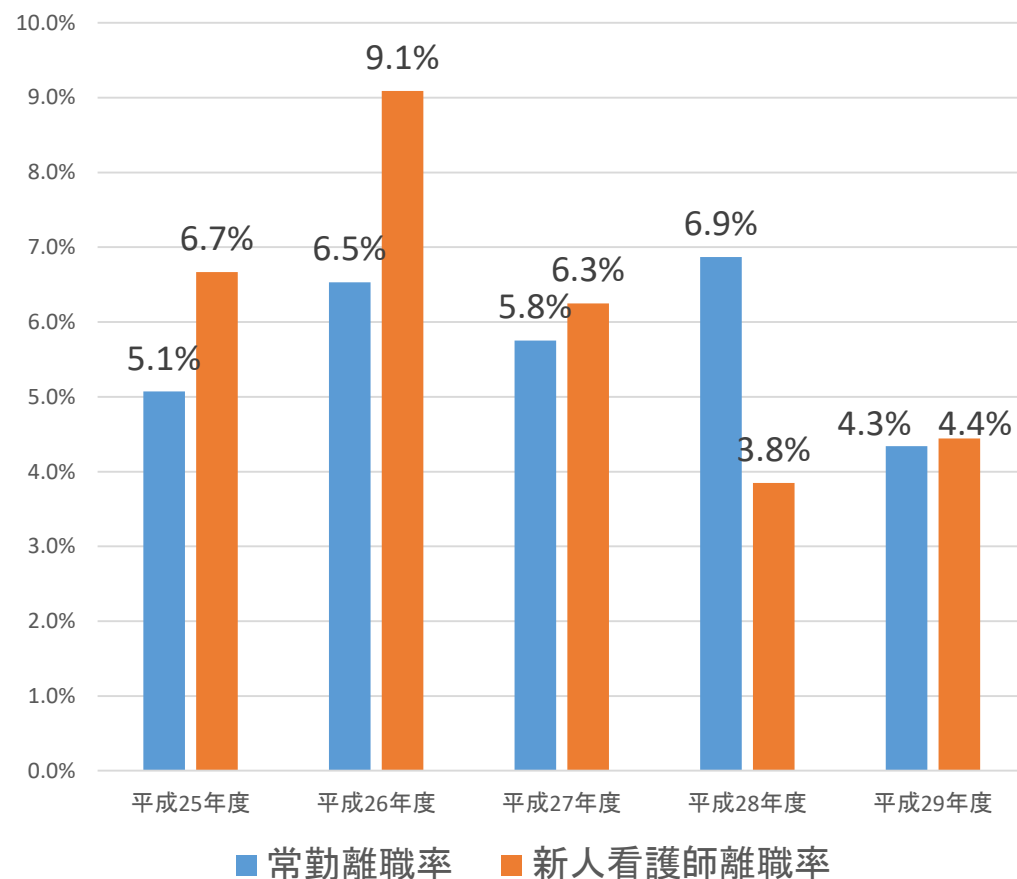
看護師年代別構成



- ・病床数: 434床 (稼働: 417床)
- ・入院基本料: 急性期一般入院料1
- ・重症度・医療・看護必要度: 38.2% (H30.1月)
- ・医師: 178人
- ・看護師: 548人 ・看護師平均年齢: 38.3歳
- ・看護補助員: 75人
- ・医師・看護クラーク: 65人
- ・コメディカル職: 141人
- ・事務職: 107人
- ・その他: 10人

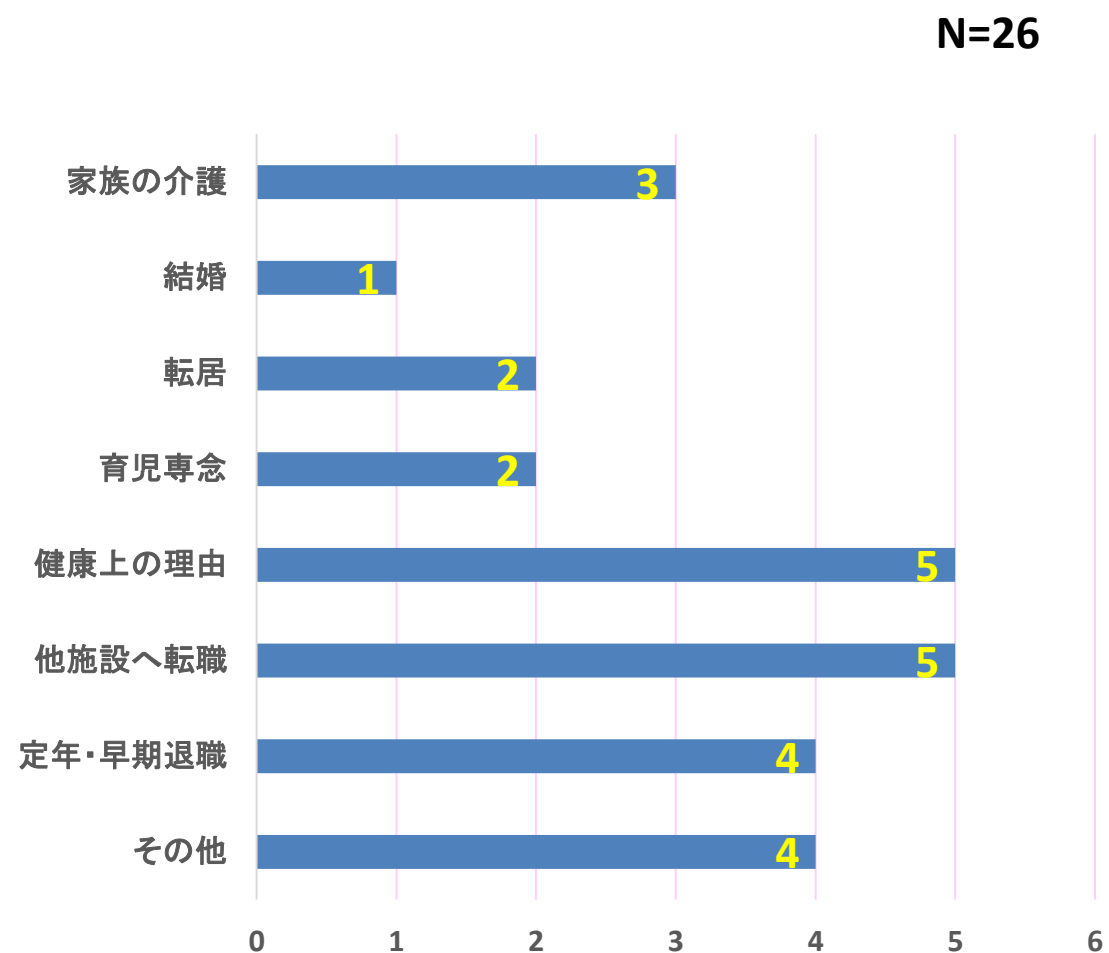
※職員数は嘱託含む (H30.10.1現在)

看護師離職率の推移



看護師離職率: 当該年度の退職者数 / 当該年度の平均職員数 × 100

離職理由(平成29年度離職者)



(人)

看護師確保の取り組み

〈勤務環境の改善〉

- 1) 変則二交代制の導入(平成26開始 現在11部署で実施)
- 2) 二交代制・三交代制の混合体制の試行(平成29年開始)
※日本看護協会 夜勤・交代制勤務の「勤務編成の基準」の遵守

二交代制の勤務時間

日 勤: 8:00～16:30
長日勤: 8:00～20:30
夜 勤: 20:00～ 8:45

所定労働時間
155時間/月
7時間45分/日

- 3) 勤務管理システムによる出退勤時間の管理
 - ・定時退庁の促進
 - ・時間外勤務の事前命令と事後確認の徹底

看護師一人あたりの月平均超勤時間

平成29年度 5.0時間
平成30年度 4.7時間

※平成30年度は1月31日時点

〈育児・介護支援〉

- 1) 育児短時間勤務・部分休業
 - ・夜勤免除や回数制限の対応
 - ・お互い様意識の醸成
- 2) 院内保育所設置
 - ・夜間保育(毎週水曜日)
 - ・病児保育
- 3) 介護休暇



〈その他の支援〉

- 1) 修学部分休業
 - ・大学や大学院における修学のため2年以内の間休業できる
- 2) 自己啓発休業
 - ・大学等への修学やJICA(国際協力機構)での国際ボランティア活動を行うため、3年間の範囲で休業できる
- 3) 配偶者同行休業
 - ・外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることを可能にする休業

看護師確保の取り組み

〈教育体制の整備〉

1) 目標管理によるキャリア支援

- ・モチベーションの向上
- ・やりがいを持って生き活きと働ける

2) クリニカルラダーを用いた人材育成

- ・ラダーレベルに応じた教育

レベルⅠ：新人看護職員研修ガイドラインに基づいた教育内容

レベルⅡ：事例研究

レベルⅢ：問題解決、リーダーⅠ、リーダーⅡ研修

レベルⅣ：管理能力育成研修Ⅰ

レベルⅤ：管理能力育成研修Ⅱ

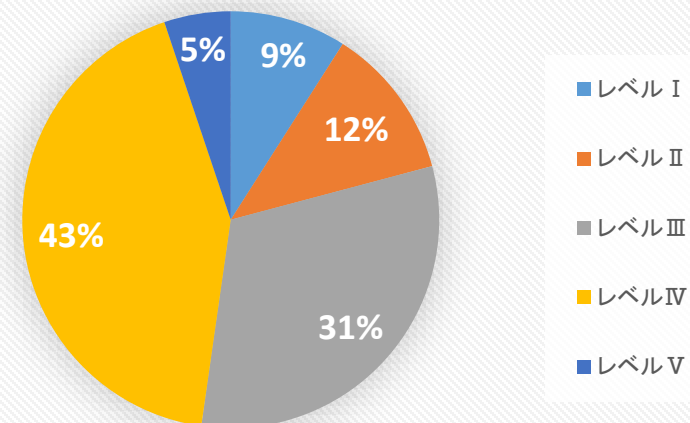
- ・役割に特化した教育

プリセプター研修

各種リンクナース研修



ラダーレベル別構成



ラダーレベル	人 数	割 合
レベルⅠ	42	9%
レベルⅡ	55	12%
レベルⅢ	146	31%
レベルⅣ	198	43%
レベルⅤ	24	5%

4. 県立病院附属診療所の看護師確保

県立診療所のある離島の人口

島 名	人口(人)
北大東島	580
南大東島	1, 281
久高島	246
粟国島	724
渡名喜島	385
座間味島	609
阿嘉島	268
渡嘉敷島	700

出典：沖縄県企画部市町村課「住民基本台帳人口の概況」(平成29年1月)

離島への入域観光客数

島 名	人口(人)
北大東島	1,367
南大東島	4,748
久高島	66,532
粟国島	2,418
渡名喜島	1,386
座間味村	103,461
渡嘉敷島	132,731

※平成28年3月から平成29年2月までの一年間

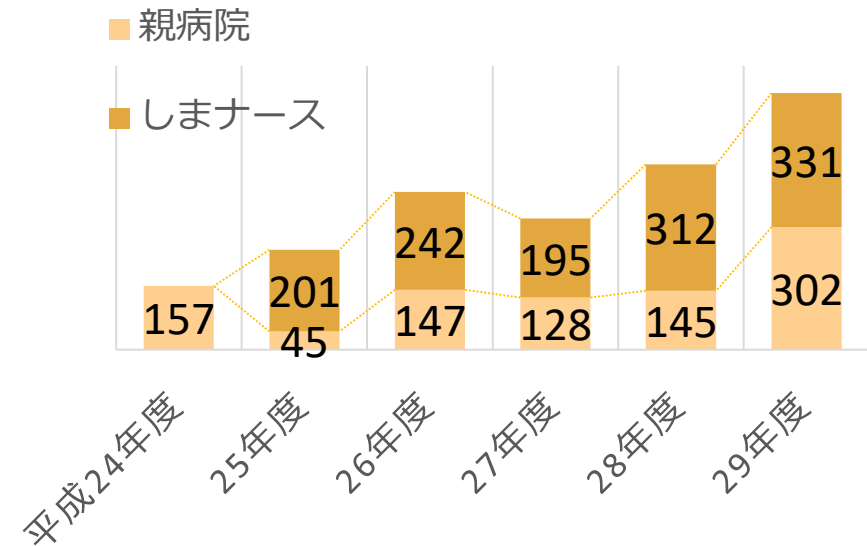
出典：沖縄県市町村概要

沖縄県病院事業局代替看護師派遣事業

- ・沖縄振興特別推進交付金を活用した事業
- ・事業期間:平成25年度～平成33年度
- ・事業目的:
診療所看護師の研修機会の確保、診療所における看護師の勤務環境を改善することによって、安定した看護師確保を図る
- ・事業内容:
看護師2名を県立病院課へ配置し、診療所看護師が研修等により島を離れる場合に、代替看護師として派遣する

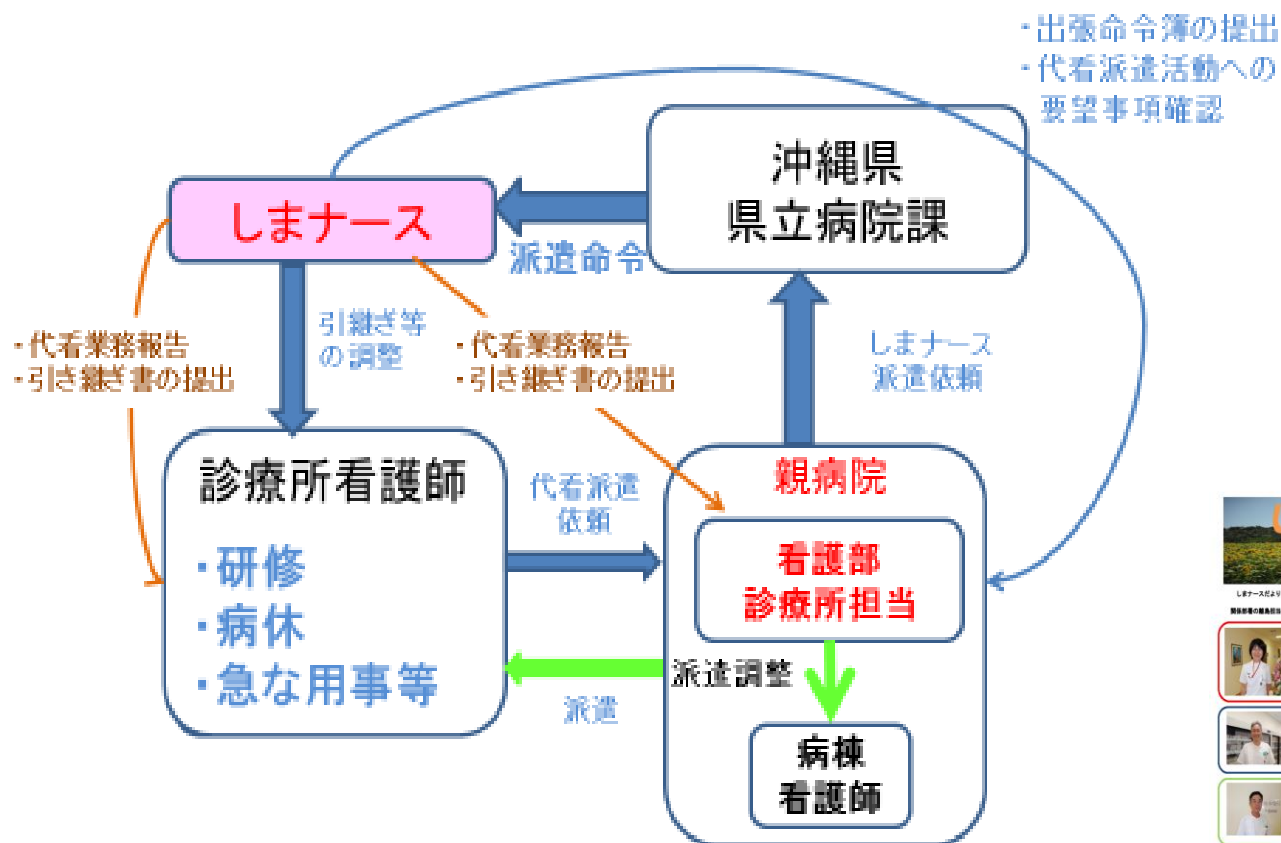


しまナース派遣日数の推移



※離島医療支援看護師(代替看護師):通称 **しまナース**

派遣依頼の流れ



しまナースの活動内容

- ①診療所看護師の代行
- ②診療所の業務改善
- ③情報発信
- ④看護師会議への参加
- ⑤電話やメールによる支援
- ⑥自己のスキルアップ研修



診療所看護師の業務

与薬業務

薬局なし、薬剤師なし



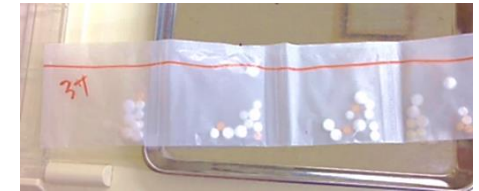
服薬指導、薬剤管理はナースの仕事



多くの離島診療所は
医師1名、看護師1名、事務員1名の3人体制
看護師の仕事としては・・・

- 看護業務 ……診察介助や処置介助、保健指導など
- 与薬業務 ……服薬指導、薬剤在庫管理など
- 検査業務 ……検体採取に加え、検体輸送準備や検査機器の管理
- 施設管理業務…診療所内の備品管理、テレビやクーラーなどの故障対応など
- 地域との連携…地域資源をアセスメントし関係機関同士の連携・調整など

赤ちゃんから高齢者までを対象とする。
幅広い看護実践を提供する必要がある。



患者の状態に併せて薬剤の一包化

薬棚

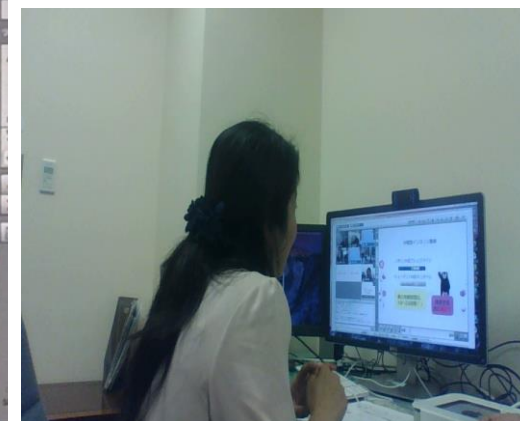
WEB会議による離島診療所看護師支援

平成29年度実績

月	開催数	VOL	事例検討内容
4月	第6回	10	講習：診療所におけるインスリン導入 *
5月	第7回	11	離島でのグリーンケア *
6月	第8回	12	集団感染症の対応
		13	多数傷病者発生時の対応
7月	第9回	14	統合失調症の病状悪化時の対応 *
8月	第10回	15	精神疾患を抱える母親との子供たちへの支援
		16	ゴミ屋敷に住んでいる患者の生活改善
9月	第11回	17	精神発達遅滞のある症例との関わり
		18	保健師との情報共有について
10月	第12回	19	認知症（夫）夫婦の援助 * 装具担当者
11月	第13回	20	遠隔離島でターミナル期にある患者への関わり *
		21	伊平屋診療所の多職種との糖尿病重症化予防に対する取り組みについて
12月	第14回	22	訪問リハビリを導入して1年経過 *
		23	役場との関わり、情報交換会について



認定看護師



2015/3/21

今後の課題

1. 離島診療所で勤務する看護師の安定的確保

- ・診療所看護師としての人材育成
- ・診療所看護師の魅力発信
- ・診療所看護師の勤務環境改善（研修機会、休暇の確保、相談体制の整備等）

2. 働き方に関する多様なニーズへの対応

- ・育児休暇後は多くの職員が育児休業制度を活用するため、その他職員の夜勤負担が増す
- ・多様な勤務形態で効率よく仕事ができるよう、業務改善を推進する

3. 勤務環境改善のさらなる推進

- ・時間外勤務縮減ための取り組み強化
- ・職員の意識変革